



# 「いちえだっ子」

北九州市立一枝小学校 校長 毛利 伸二

## 平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

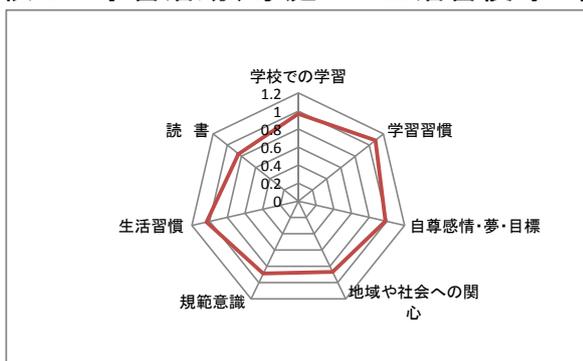
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語A	・全体的に全国平均正答率をやや上回り、話す・聞く・読むことがおおむねできていた。 ・書く力を問う問題に課題があり、書くことを習慣化する必要がある。	上回っている
国語B	・全国平均正答率を上回り、昨年度より上昇していた。 ・文章の内容について、根拠を明確にして、自分の考えを書く問題に課題がある。	上回っている
算数A	・全国平均正答率をやや上回り、計算の問題については正しく処理できていた。 ・数量関係を考える力が不足しており、資料から読み取る問題に課題がある。	上回っている
算数B	・全国平均正答率をやや上回り、応用問題に対しても苦手意識をもたず、粘り強く取り組むことができるようになった。 ・数量や図形についての知識・理解が高くなり、応用できるようになった。	上回っている

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



#### 質問紙調査の結果分析

・スマホ・携帯電話の所持率が増加したが、「携帯・スマホ電源10時OFF」の取組により、2時間以上接触している児童の割合は減少した。

・将来の夢や希望をもっている児童は全国と同じくらいいる。それぞれの夢を実現させるために具体的な目標設定を行い、行動に結び付けさせることが必要である。

### 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

・各教科の学習の中に、「わかる授業づくりの5つのポイント」を位置付け、それを授業改善の基本の取組にしなが  
ら、書く力や考える力を高めていく。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

・学習時間(学年×10分+10分)や学年に応じた学習内容、自主学習ノートの進め方などをまとめた「一枝小学校  
家庭学習の約束」の取組の定着を図る。